

「火の用心だより」

第129号（令和7年12月）

発行：札幌市消防局予防部予防課

大掃除と一緒に火災を一掃！

師走に入り、年の瀬が近づいてきました。年末に向けて、大掃除をされる方も多くいるのではないのでしょうか。今回は、清掃を行うことで防げる火災事例をご紹介しますので、この機会に確認しましょう。

●次のチェック項目を参考にして、大掃除の機会に火災危険箇所も一掃しましょう。

『大掃除と一緒に火災予防！火災危険チェックシート』

※ 1つでもチェックがあると危険ですので改善しましょう！

①電気



- ☐ コンセント周辺にほこりがたまっている
- ☐ 家具の踏みつけ等でコードが破損している
- ☐ 許容量を超えたたこ足配線をしている
- ☐ 長いコードを束ねている

②こんろ



- ☐ こんろやレンジフードが油まみれ
- ☐ こんろ周りに物が置かれている
- ☐ こんろの火が壁に接している

※こんろの使用時にはその場から離れないようにしましょう。

③たばこ



- ☐ 灰皿内に吸殻が多く溜まっている
 - ☐ 吸殻を水につけず直接ごみに捨てている
- ※寝たばこやたばこのポイ捨ては絶対にしないよう気を付けましょう。

④ストーブ



- ☐ 衣服やタオルを近くに干している
- ☐ 空気取り入れ口や温風吹き出し口にほこりがたまっている

⑤スプレー缶・ガス缶



- ☐ こんろや暖房器具周辺に保管している
 - ☐ 密閉空間でガスを抜いている(※)
- (※) 札幌市の家庭ごみの回収では、中身を使いきり、穴をあけずに透明または半透明の袋に入れて出してください。



大掃除で出たごみは正しい方法で処分する！

不要になったリチウムイオン電池やスプレー缶等をごみステーションに出すと、ごみ収集車の中で潰されて火災になるケースがあります。大掃除で出たごみは、正しい方法で処分しましょう。

ごみの処分方法につきましては札幌市環境局のホームページをご確認ください。

https://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/dashikata_menu.html



札幌市環境局HP

住宅用火災警報器の点検を！

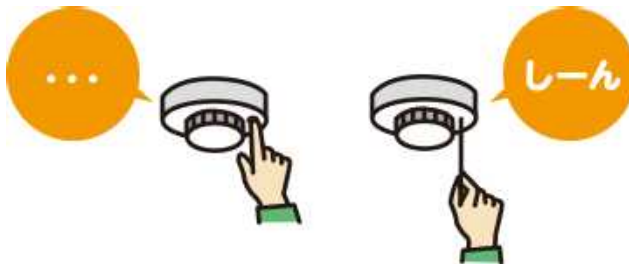
大掃除では、火災危険のある場所の確認だけではなく、「住宅用火災警報器」の点検も行いましょう。

住宅用火災警報器は、火災をいち早く知らせくれる大切な機器です。しかし、電池切れや故障していた場合には、火災が起きても警報が鳴りません。

点検ボタン（ひも）を押す（引っ張る）ことで、機器に異常がないか点検することができますので、大掃除にあわせて行いましょう。

また、住宅用火災警報器は天井や壁の高い位置に設置しているため、高齢の方は点検が難しい場合があります。実家に帰省する際には点検を手伝ってあげましょう。

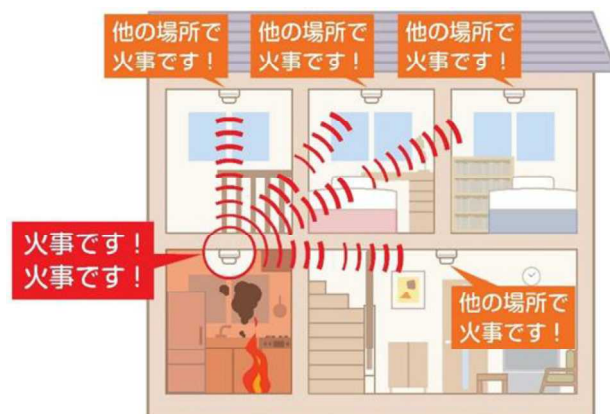
●点検の方法

正常な場合	電池切れ、故障の場合
ボタンを押すと、ひもをひくと	ボタンを押すと、ひもをひくと
	
	※詳しくは、取扱説明書等を確認しましょう。

●交換の目安について

住宅用火災警報器は、10年を目安に交換を推奨しています。電池切れだけではなく、内部のセンサーなどの寿命により火災を感知しなくなる可能性があるためです。

交換を検討している場合、「連動型住宅用火災警報器」がおすすめです。連動型は離れた部屋で火災を感知した場合でも、家中すべての警報器が鳴るので、家の中にいる全員に火災を知らせることができ、早期に避難や初期消火を開始できます。



市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO